

7月1日～7月31日 違反ごみ撲滅キャンペーン

～ごみ出しルール「知っている」から「やっている」へ～

➤ ごみ出し三原則を守りましょう！

三原則 その1

正しく分別して出しましょう



「プラスチック製容器包装」や「古紙」、「びん・缶・ペットボトル」などは大切な資源です。
「資源とごみの分け方・出し方カレンダー」や「資源・ごみ分別アプリ」などを確認し、分別してから出しましょう。

三原則 その2

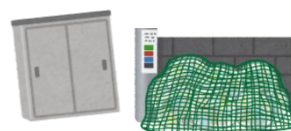
決められた日の決められた時間までに出しましょう

盛岡・玉山地域は朝8時30分まで、都南地域は朝8時までに出しましょう。



三原則 その3

決められた場所に出しましょう



使用のごみ集積場所は、住んでいる場所によって、決められています。
必ず決められた場所に出しましょう。

※事業に伴って排出されるごみは、地域のごみ集積場所には出せません。

➤ 資源・ごみ分別アプリ好評配信中！

利用者数2万人
突破！

iOS版

Android版

使い方



資源・ごみ分別アプリ(さんあ〜る)は、誰でも簡単に収集日や分別区分を確認することができます。

収集日を前日や当日に通知するなど、便利な機能がたくさんあります。ぜひ御活用ください！

【アプリに関するお問い合わせ】

盛岡市 環境部 資源循環推進課(若園町分庁舎)

TEL: 019-626-3733

E-mail: sigen@city.morioka.iwate.jp

↑ダウンロードはこちら↑



➤ 食品ロスの削減・生ごみ減量について

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品のことです。日本では年間523万トン（農林水産省及び環境省「令和3年度推計」）の食品ロスが発生しています。食品ロスには次のようなものがあります。

食べ残し



食べ切れず
に捨てられた
もの

手つかず



買いすぎや
期限切れなど

むきすぎ・

切りすぎ



厚くむきすぎた
野菜の皮など



令和5年度に盛岡市が行った可燃ごみ組成分析調査*では、可燃ごみの中に**43.2%**の生ごみが含まれていたよ！
また、生ごみのうち**6.6%**が食べ残しや、手つかず食品等の食品ロスでした！

食品ロスの削減
や生ごみの減量
に向けて

* 盛岡市全域（盛岡地域、都南地域、玉山地域）の平均

3つの「きる」に取り組もう！

① 使いきる

- ✓ 残っている食材や、消費期限が迫った食材から使いましょう。
- ✓ 買い物をする際は、ばら売りや、量り売りも活用しましょう。



② 食べきる

- ✓ 家族の予定や体調などを踏まえ、食べきれる量を作りましょう。
- ✓ 作りすぎてしまった場合でも、冷凍保存や、別の料理にアレンジするなど工夫しましょう。
- ✓ 外食時は、自分の適量を注文しましょう。



③ 水気をきる

- ✓ 生ごみを捨てる時は、ひとしぼりや水切りをしましょう。



例えば、手絞りを行くと、1人1日あたり5.2g～49.4gの減量につながります！
できることから1つずつ始めてみましょう！

